

～こんにちは、消費生活相談員です～

知って安心！消費生活のはなし



「注文された海産物が用意できましたので送ります」とはがきが届いた。



教えて、相談員さん！

「注文された海産物が用意できたので、送ります」という内容のはがきが届いた。サケ、昆布、ジャコなどのセットで心当たりがない。

「注文していませんよ」と電話したが、「あなたが注文したんです。キャンセルはできません。10,500円です」と言われ、断れなくて「わかりました」と返事をしてしまった。

(80歳代 女性)



お答えします！

1. 本当に注文をしていないなら、契約は成立していません。一人で業者に電話せず、まず相談窓口にお知らせください。注文の証拠などを確認する必要があります。
2. 万一、電話がかかってきた場合でも相手の話をうのみにしてはいけません。心当たりがないなら、きっぱり断りましょう。
3. 注文していない商品が届いても受け取ってはいけません。
4. すぐに消費生活相談口にご相談してください。

気軽に相談ください！解決困難事案は法律相談会への紹介も行います。

▶消費生活相談窓口直通ダイヤル（電話 72 - 0336）※役場産業振興課内

教えてください。あなたの「こころの風景」のこと。

NHK BSプレミアム

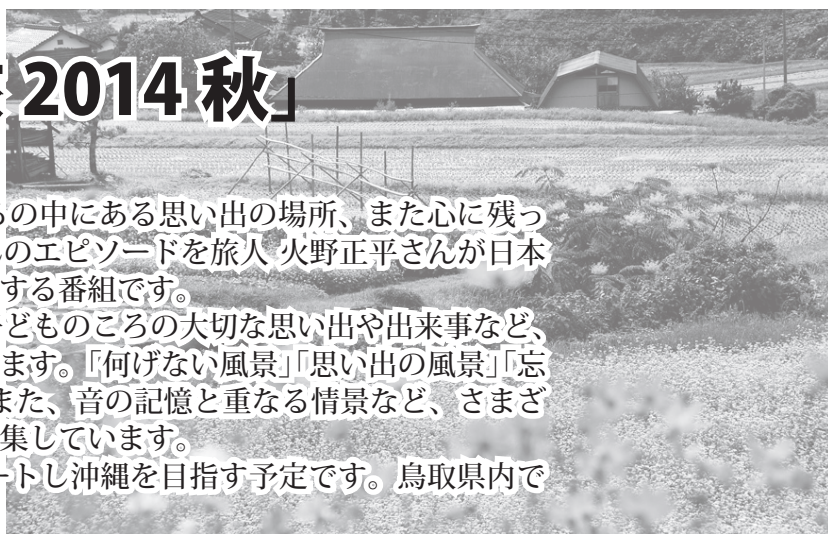
「にっぽん縦断 こころ旅 2014 秋」

エピソードを募集しています。

「にっぽん縦断こころ旅」は、個人のこころの中にある思い出の場所、また心に残っている風景など、その場所にまつわる皆さんのエピソードを旅人 火野正平さんが日本全国を自転車縦断し、その風景を訪ね紹介する番組です。

普段、当たり前に見ている風景の中にも、子どもころの大切な思い出や出来事など、さまざまなエピソードが隠されていると思います。「何げない風景」「思い出の風景」「忘れられない風景」「みんなに伝えたい風景」また、音の記憶と重なる情景など、さまざまな風景や場所にある皆様のエピソードを募集しています。

今回の「2014 秋の旅」は、大阪府をスタートし沖縄を目指す予定です。鳥取県内では4本の番組を制作予定です。



【鳥取県の放送予定】 10月6日（月）～10日（金）

【募集締切】 9月2日（火）必着

(早めにお手紙をお寄せいただけると、番組で取り上げられるチャンスがアップします)

【応募方法】 番組ホームページから：<http://www.nhk.or.jp/kokorotabi/>へアクセス
ファックスで：03-3465-1327
ハガキ・封書で：〒150-8001 NHK「こころ旅」係へ送付

【応募内容】 次の内容を明記の上、ご応募ください。
①住所 ②お名前 ③電話番号 ④性別 ⑤年齢 ⑥思い出の場所・風景
⑦思い出にまつわるエピソード

【問合せ先】 NHK ふれあいセンター 電話 0570-066-066（ナビダイヤル）

第7回教育委員会 開催

7月4日に第7回の教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

【第7回委員会】

《報告》

- ・第69回日野郡民総合体育大会の開催について
7月13日に日野町を主会場に開催される今年の郡民体育大会について報告がありました。
- ・日野町職員採用試験について
7月13日に行われる職員採用試験（保育士若干名）について報告がありました。

《議案》

- ①日野町社会教育委員の委嘱について
- ②日野町文化センター運営委員の委嘱について
- ③日野町公民館運営審議会委員の委嘱について
・任期満了による各委員の委嘱について審議・承認されました。
- ④日野町下榎隣保館運営審議会委員・日野町立下榎集会所運営審議会委員の委嘱について
・転任などによる一部の委員の委嘱について審議・承認されました。

《その他》

- ①平成26年度鳥取県市町村教育委員会研究協議会について報告がありました。
- ②平成26年度第1回西部町村教育行政広域連携推進研修会について報告がありました。
- ③平成26年度市町村（学校組合）教育委員会委員研修会について報告がありました。
- ④平成26年度鳥取県八頭郡小学校教育研究大会（小中一貫校若桜学園研究発表会）について報告がありました。

《次回の予定》

日時…8月7日（木）午後1時30分

場所…役場第1会議室

※会議は公開しています。お気軽におでかけください。

今月の子育ての知恵袋④0 子どもの同級生

昔は子どもが多く、同級生がたくさんいたが、娘の同級生の子どもがとても少なく、一緒に遊ぶことがなかなかできない。

何とかたくさん同級生の子どもと遊ばせてやりたい。

（下菅 29歳 男）

日野町「子育ての知恵袋」より（平成24年3月 町教育委員会発行）

【日野町図書館 おすすめの1冊コーナー】

読んでみたらんかな～

『半熟卵のエンジン』

歩 祐作（あゆみ ゆうさく） 著 講談社

この本には、5つの短編が収録されています。

早朝の屋上で、クラスメイトとお互いの秘密を共有してしまったことから始まる話（「うつせみ」）。通学途中にある公園の笑っている猫の置物に、戦いを挑む話（「笑い猫キック」）。物置代わりになっている教室の机の隅に書いた落書きから、見知らぬ誰かとやりとりをしていく話（「夕日のすみで待っていた」）。同級生に毎週金曜日に付き合っていて欲しいと頼まれたことから始まる話（「鈴どろぼうと金の秋」）。受験勉強中に両親には内緒で、姉に色々な夜食を作ってもらう話（「半熟卵のエンジン」）。

いずれも主人公は、高校生又は高校生の時を題材とした作品たち。何気ない日常の中で、しかし時は過ぎていく。私も〇年前には高校生でしたが、まるでその時の何気ない、あの時でないと感ずることができなかつたものを思い出しました。ひょっとしたら何気ないなんてことはないのかもしれない、大切な時間。それを著者は無駄のない文章で、時折“青春”と言うにふさわしいようなキラキラした新鮮な言葉を使いながら表現しています。読んだ後には、心の中に何かをほおばったような気持ちなる作品です。



（図書館 湯原 愛子）